

ほけんだより

いずみこども園 令和6年5月

虫除け・虫さされの対応について



蚊や虫が多くなる季節です。虫さされ予防の服装についてお願いします。

◇通気性の良い薄手の長そで・長ズボンをご用意ください。

◇東京都福祉保健局からのデング熱の予防法でも、肌を露出しないことが対策としてあげられています。

デングウイルスを媒介するヒトスジシマカやネッタイシマカは、日中に活動します。その時間帯に屋外で活動する場合は、肌の露出を控え、長そで・長ズボンの着用が推奨されます。

素足でのサンダル履きも避けたほうが良いです。 「東京都福祉保健局 デング熱について」より

園での虫除け・虫さされ予防対応

※蚊取り線香・電気蚊取り線香・子どもが使える *イカリジン使用 虫除けスプレーを使用します。

※乳児クラスは、虫にさされやすい・さされると腫れやすいなどがあるお子さんには、状況に応じて

イカリジン使用の虫除け剤対策をします。ただし積極的に薬剤使用はしません。

※蚊取り線香の煙・虫除けスプレーを、使用することに支障がある場合はご相談ください。

*イカリジン・日本では、2015年に使用が承認された新しい「虫除け成分」です。

「イカリジン」には年齢制限や年齢に応じた使用制限や回数制限がありません。赤ちゃんにも使える虫除け成分です。

「ディート」の場合は生後6カ月未満の赤ちゃんには使用が禁じられていますし、12歳以下のお子様は1日に使用できる回数に制限があります。

■スプレーをしない場合■

- ・園外活動・園庭遊びの場合は、基本的には薄手の通気性のよい、長そで・長ズボンを着用します。
(半そで・半ズボン用意の場合は、上記予防対応をします。)

■ご家庭で虫さされ予防対応をしてきた場合の、園での対応について■

○虫除けリング ・リングは、引かかるなど活動に支障が出るため園には着けてこないでください。

○虫除けシール ・園での管理はしません。

※保護者の判断で、家庭から服にシールを貼ってくるのは良いのですが、園での貼り直しはしません。

他のお子さんが気にならないように、はがれて口に入れないように、服の内側に貼り、職員にお知らせください。

■虫にさされた場合■

○虫さされ用の薬 ・園生活で虫にさされた場合、水洗いしてから市販のかゆみ止めを塗ります。

※薬品自体に肌がかぶれるお子さんもいるので、支障ある場合はお知らせください。

■「とびひ」かな？と悩んだときは…■

○肌の調子が悪いと、かゆみ・腫れが気になり掻きこわして発赤発疹になり、身体に広がります。

○園で気付いた場合、早めに受診をお願いしています。ご協力をお願いいたします。

